

IMPORTANT UPDATE – THE ORION PROJECT 重要な最新情報 – オリオン・プロジェクト

2010年5月13日

この2年間、オリオン・プロジェクトは、一つの施設を建設するために資金を募集してきました。この施設は、私たちが科学者と発明家たちをエネルギーの平和的マンハッタン計画に集わせ、私たちが化石燃料経済から脱却させる新エネルギー源を開発するためのものです。私たちはまた、この仕事を遂行する能力を持つ科学者と発明家たちを確認する取り組みを行ってきました。この100年間、ニコラ・テスラのような科学者たちが、そのような装置に取り組んできました。多くの発明家たちが努力してきましたが、私たちが使っているエネルギーの大部分は、今なお化石燃料です - 1800年代に使われた燃料と同じものです。この現実を、最近私たちが経験した出来事が明らかにします。

昨年12月に、私たちはオリオン・プロジェクトと共に取り組むことを希望する、きわめて有能な1人の科学者と契約中であると報告しました。彼は、現在も情報機関とつながりのある民間企業で働いているために、身元を隠したまま働くことを望みました。註釈には、彼は2008年の秋に、私たちと連携して取り組むことに同意したとあります。あのとき彼は、プロジェクト理事会のメンバーと会い、それを読んでサインするために、契約書を自宅に持ち帰りました。しかし、彼は3日以内に電話をよこし、15ヶ月間海外に派遣されることになったと語りました。その後1年間、私たちには彼から何の連絡もありませんでした - 連絡があったのは、まさにグリア博士がオバマ大統領に宛ててまとめた、エネルギー技術の要約 (energy briefing) が一般に公開された後のことでした。

彼は再び現れ、新エネルギー技術を開発するために、私たちと共に組みたいと語りました。彼はプロジェクト理事会のメンバーと再び会い、先進的エネルギーシステムを建造するために私たちと連携することについて、情報機関にいる彼の“指導者たち” (shepherds) から許可を得たと断言しました。しかし、先進的推進システムに取り組むことは許可されませんでした - つまり、彼は私たちの家庭や会社に電力を供給するシステムを建造することはできますが、彼が過去に開発した、先進的推進システムを再現することはできないということでした。

私たちは、週末の長い時間を彼と共に過ごし、彼が述べたあるシステムについて同意しました。それはテスラ型高電圧システムと同種で、地球のエネルギー場からエネルギーを取り出すものでした。それは1日24時間稼働し、太陽エネルギーにも風力にも依存しません。また、遙かに効率がよく、汚染も発生しません。この科学者は、私たちのために開発することができ、また彼自身そうしたいと思っている、さらに3種類の技術についても説明しました。彼ら夫妻は、私たちと連携することに同意し、私たちが施設の建設資金を集めることができたなら、バージニア州に転居するつもりだと語りました。彼らは、最初の装置を完成させ、その後に別の装置に取り組むという、スケジュール表を示しました。彼

の信用資格に鑑み、また彼の研究成果を再現した科学者たちからの、独立した高いレベルの確証も得て、私たちは他ならぬこの科学者と連携しながら前進することに、胸が高鳴りました。

物事はうまく進み、最初の2ヶ月間はきわめて順調でした。彼はブラボ博士と週に何回か連絡をとり、彼がプロジェクトに取り組んでいること、またそのことに大変気持ちが高揚していることを語りました。また、研究の進捗が思ったよりも遅れていることを詫言しました。

3月中旬に、突然変化が起きました。彼はブラボ博士に電話をよこし、彼が義務を負う別の仕事に関係する“外国人”から、脅迫を受けていると語りました。彼は、彼とオリオン・プロジェクト理事会との間の電話が録音されており、それが彼に向けて“再生”されたと言いました。彼は、私たち（オリオン・プロジェクト）との間には何の問題もないと言いました - 実際、彼がこの2ヶ月間に何度か繰り返し語ったのは、情報機関の彼の担当者たちが詳しく調査し、私たちの連携を承認したということでした。彼はブラボ博士に、自分に取り組んでいる装置を完成させ、将来私たちのところに来て一緒に働く計画であることを確認しました。しかし、それから6日間のうちに、彼は“イエス、あなたたちと一緒に働くことを熱望しており、胸が高鳴っている”から、“ノー、あなたたちとは一緒に働けない”に立場を変えました。

ブラボ博士は、その期間中に彼と何度も会話を交わしていました。彼によれば、“安全保障”分野の人間が数人彼を訪れ、妨害するような情報を与えたということです。そのうちの1人の身元（名前も）を彼は確認しましたが、それはある元CIA長官でした。どうやら、彼は偽情報を得ていたようです - というのは、彼は以前に何度も、彼が私たちと契約を結ぶ承認を与えられる前に、情報機関が徹底的に私たちを調査したと語っていたからです。

この数ヶ月間、私たちに変わったところはありませんでした。ですから、誰かがどこかで、彼が本当にパラダイムを変える装置をつくり出せる人間であること、オリオン・プロジェクトがそれを世界に向けて投入する能力を持つグループであることを確信し - それを阻止しようと決意したに違いありません。このやり方は、“敵対的調査”（oppositional research ; oppo research）と呼ばれており、欺くための真実の歪曲または完全な嘘から成り立っています。彼が語った一つの馬鹿げた話ですが、彼はこう言われたそうです：私たちはテロリストたちに、彼らの精神力（minds）を使って大量破壊兵器を爆発させる方法を教えていると。

このことが起きた直後に、私たちと共に取り組むことに同意していたさらに3人の科学者 - 彼らは申し分のない信用資格を持ち、航空宇宙産業、政府の主要な研究室、および軍事プロジェクトで働いた経験がありました - の全員が、私たちとの連携を阻むための偽情報を与えられるか、何らかの脅迫を受けました。これは、権力を保持したいあるグループ - “マジスティック”と呼ばれるこのグループ - が、どのような方法で世界の支配権を握

り、化石燃料経済をその数兆ドルの金融派生物の価値と共に維持しているのか、その驚くべき実例です。世界中の炭鉱坑道は崩落して多数の人々を死なせ、膨大な量の原油がメキシコ湾に噴出し続け、その一方で、世界の多くの人々が必要最小限のエネルギーさえ持たない状況が続いています。

私たちは正しい方向に進んでいたに違いありません。これらの野獣たちが、私たちの会話を不法に盗聴し、合法的な契約を妨害し、この取り組みを脅迫し抹殺するために権力を持つ元 CIA 長官を取り込み、防御の円陣を組んだのですから。

さらにまた、私たちがオリオン・プロジェクトを始めてから、グリア博士は何度も死の脅迫を受け、繰り返し跡をつけられています。去年はそれが益々ひどくなりました。これについては、地元警察も FBI もファイルを開示しています。グリア博士のコンピューターは、犯罪にも使える最も破壊的なプログラムにより不正侵入されました。オリオン・プロジェクトのボランティアとして働いている私たちのチーフエンジニアの 1 人は、電子メールに不正侵入されました。ある発明家からの電子メールには、国防総省のメモとその発明家の接触者情報を含む機密文書が添付されていましたが、この特定の電子メールは彼の受信ボックスから削除されました - これらは、ただ干渉を受けただけの出来事にすぎません。

このような高度に組織化された抑圧活動がある中で、私たちにできることは何でしょうか？

この 2 週間に、私たちはきわめて膨大なファイル（音声ファイルと文書ファイルの両方が含まれます）を制作しました。これには、今述べた出来事に関連する情報が含まれています。私たちの誰にでも、どのようなことも起きる状況（傷害、虚偽の訴訟、失踪、死）では、私たちは前に進むことができません。ですから、私たちはこの情報を国民に公開しません。ファイルには、この仕事を遂行する能力を持ちながらそうすることを許されていない科学者たちの情報、抑圧活動に関与している輩についての、きわめて信頼のできる証拠と情報 - 名前、住所、電話番号、具体的な活動の詳細 - のすべてが含まれています。

私たちには、そのファイルを大統領に届けることのできる接触者たちがいます。また、メディアとハリウッドにも、きわめて地位の高い接触者たちがいます。このファイルはまた、皆様にも届けられます。これこそが、私たちがとり得る最良の方法であると私たちは感じています。なぜなら、際限のない富と権力を持つこれらの輩と、いつ果てるとも知れない法廷闘争に入ることは、私たちにはできないからです。私たちにある唯一の武器 - 私たちが持てる最良の武器 - それは真実です。そして真実について私たちが持っている記録文書です。

私たちのゴールは、これらの墮落した輩と終わりのない戦いを始めることではありません；私たちは、地球を救い、生命を救う技術を携えて前進するチャンスを、人類に与えたいと思っているだけなのです。

私たちは、一つの研究施設を始動させ、装備とスタッフに投資するために目標とした、300万ドルの資金を調達していません。私たちに寄せられた寄付金は、自己資金で取り組んでいる人々にささやかな助成を行なうことのできる金額にすぎません。施設がないために、上級科学者や技師たちは、私たちが彼らを呼び寄せ、給料を支払う場所を持っているという保証がない限り、本業を辞めるわけにはいきません。

現時点で私たちが出した結論は、協力的な支援またはプロジェクト管理を持たずに自己資金で取り組んでいる人々は、この仕事を成功裏に行なうことができないだろうということです。もし完全に作動する技術を持っている方がおられたなら、どうかオリオン・プロジェクトのウェブサイト www.theorionproject.org を訪れ、行動を起こすための私たちの手順書を検討してください。もちろん、私たちは非公開の同意書にサインすることになります。

私たちは、差し迫った状況とその複雑さを理解する、素晴らしい才能を持った技術者を何人かかかえています。グリア博士、ローダー博士、ブラボ博士、そしてこれらの技術者たちが、彼らの時間とエネルギーを無償提供しています。私たちは誰一人、自分たちがした努力に対して、いかなる対価も給料も受け取ったことはありません。そのただ一つの理由は、私たちは自らが行なっていることを確信しているということです。ですから、もしあなたが本物の技術を持つ人物またはグループを知っていて、彼らがそのことを証明するためにそれを透明性と誠意を持ってテストし、再現したいと考えているなら、どうか私たちに連絡してください。

どのような技術も、科学的評価法の手順に従うことが不可欠です。作動する技術を持っていると言う発明家たちはいますが、それがどのようにして作動するのかを、彼らは知りません。何年もの間、グリア博士は多くの詐欺を見破ってきました。一例を挙げると、それは評価のためにグリア博士とローダー博士が呼ばれた技術に関係するものでした。これは他国から持ち込まれたもので、実際にはプラスチック樹脂に埋め込まれた一つの回路でした。それはゼロポイントまたはエーテルからエネルギーを引き出しているように見えていました。今は亡きユージン・マローブ博士（マサチューセッツ工科大学 - 彼は常温核融合データの歪曲とその隠蔽を暴露した科学者です）も、この評価に関わっていました。この技術は、実際にはメーターにトリックを用い、電力位相角シフト（電気工学関係者はこの意味を知っています）として知られる現象を起こしている、巧妙な回路であることが分かりました。しかし結論は、多くの人々がこれに投資した、巧妙な詐欺であったということです。これが、私たちが透明性を求める理由です。私たちは専門家です。私たちには、高い専門性を持った技術者たちがいます。私たちは、巧妙なごまかしに関わりたくありません。また、私たちは今の時点で、人々のアイデアに資金を提供することもできません。私たちが理解するに至ったのは、この仕事を完遂するために、私たちは、適切な科学的装置と専門的な科学スタッフを備えた、安全な研究施設を立ち上げなければならないということです。

私たちはまた、資金を集めるための専門的な提案を完成させつつあります。その提案を書いているのは、第一級のきわめて高い能力を持つ人物です。私たちはこの提案の中に、豊富な研究と情報を盛り込んでいますが、それは新エネルギー分野に提示する最高の提案になると私たちが信じているものです。私たちはこの提案を、財団が利用することができるようにするつもりです。私たちが常に実感していることは、研究施設を適切に装備し最高の才能を集めるためには、数百万ドルが必要になるということです。私たちは、これらの科学者への脅迫（上で報告した）を耐え抜いたばかりですが、何人かのさらに卓越した科学者たちが、私たちと連携するために待機しています。ですから、もしあなたが、本当の新エネルギー源に資金提供することに関心を持つと思われる人物に直接の接点をお持ちなら、どうか気兼ねなく私たちに連絡してください。

きわめて試練の多い2年間でありましたし、ここで報告した最近の出来事は、その最大のものでした。それでも私たちは、人類にとり実現可能な、よき未来に目を向けています。私たちは、これまで私たちを支持してくださった、またこれからも支持してくださる、世界中の多くの素晴らしい人々に感謝したいと思います。

有り難うございました。

オリオン・プロジェクト理事会

(訳: 廣瀬 保雄)



IMPORTANT UPDATE - THE ORION PROJECT

May 13, 2010

For the past two years, The Orion Project has worked to raise funds to build a facility where we can bring scientists and inventors together in a peaceful type of Manhattan Project for energy - to develop new sources of energy that will get us off the fossil fuel economy. We have also worked to identify scientists and inventors capable of this work. For the past hundred years, scientists such as Nicola Tesla have worked on such devices. The fact that many have tried, and we are still using predominantly fossil fuels - the same fuels used in the 1800s - can be illustrated by our recent experience.

We reported last December that we had under contract a very talented scientist who wanted to work with us. Because he still is doing work for a private company that is linked to the Intelligence Community, he preferred working with his identity concealed. A side note is that he had agreed to work with us in the fall of 2008. At that time, he met with the Board of Directors and took a contract home to read and sign, but called us within three days saying that he was being deployed abroad for fifteen months. We heard nothing else from him until a year later - precisely after Dr. Greer publicly disclosed the energy briefing he had put together for President Obama.

He resurfaced and said that he wanted to work with us to develop new energy technologies. He met with the Board of Directors again. He assured us that he was cleared by his "shepherds" in the Intelligence Community to work with us to build advanced energy systems, but he was not allowed to work on advanced propulsion systems - that is, he could build systems to power our houses and businesses, but he would not be allowed to reproduce the advanced propulsion systems he has developed in the past.

We spent a long weekend with him and agreed upon a system he described that would be akin to a Tesla-type high-voltage system that would extract energy out of the Earth's energy field. It could run twenty-four hours a day, independent of solar energy or wind, and be more cost-effective, as well as non-polluting. This scientist also described three more technologies he could and would develop for us. He and his wife agreed that they wanted to work with us and would move to Virginia when we could fund a facility. They presented a timeline for completion of the first device, with work on the other devices to follow after that. Given his credentials and independent high-level confirmation from scientists who had reproduced his work, we were excited to move forward with this particular scientist.

Things went well and were very positive for the first couple of months. He contacted Dr. Bravo several times a week to say he was working on the project and was quite excited about it, although he apologized that the work was going more slowly than he had hoped.

In mid-March, there was a sudden change. He called Dr. Bravo to say that he was receiving threats from "foreign nationals" that had to do with his other job obligations. He said that phone calls with the Orion Project Board had been recorded and "played back" to him. He said there was no problem with us (The Orion Project) - in fact, several times over the past couple of months, he reiterated that his handlers in the Intelligence Community had checked us out and okayed our working together. He confirmed to Dr. Bravo that he planned to finish the device he was working on and come to work with us in the future. But then, over a course of six days, he changed his stance from "Yes, I'm anxious and excited about working with you guys" to "No, I can't work with you."

Dr. Bravo had multiple conversations with him during that period. He said several people who worked in "security" visited him and they gave him disturbing information. One of these he identified (and named) was

a past Director of the Central Intelligence Agency. Apparently, he was getting disinformation - because he had previously mentioned multiple times that we had been thoroughly checked out by the Intelligence Community before he was allowed to sign a contract with us.

Nothing had changed about us in the past few months. Hence, someone, somewhere must have decided that he indeed was capable of producing a paradigm-changing device, and The Orion Project was the group that could get it out to the world - and wanted that work to stop. This is called oppositional research or "oppo research", and it consists of distorting truth or telling absolute lies meant to deceive. One absurd statement he made is that he was told that we were teaching terrorists how to explode weapons of mass destruction by using their minds.

Just after this occurred, three more scientists who had agreed to work with us - with impeccable credentials and experience in the aerospace industry, a major government laboratory and military projects - were all provided with disinformation or threatened in some way to keep them from working with us. This is an astonishing example of how a group who wishes to retain power - this group called "Majestic" - keeps its grip on the world, maintaining the fossil fuel economy with its multi-trillion dollar derivatives value. Coal-mine shafts collapse worldwide and kill many, vast amounts of oil continue to spew into the Gulf of Mexico, while many in the world continue without basic energy resources.

We must have been on the right track for these beasts to circle their wagons with illegal wire-tapping of our conversations, interference with a legal contract, and bringing in a powerful former CIA director to intimidate and kill this initiative.

Further, since we started The Orion Project, Dr. Greer has received multiple death threats and repeatedly been stalked. This has accelerated in the last year. There are FBI files open on this as well as local law enforcement files. Dr. Greer's computer was hacked into by one of the most lethal programs a criminal can use. One of our chief engineers who is volunteering with The Orion Project had his email hacked into. A specific email from an inventor with a sensitive document that involved a Department of Defense memo and the inventor's contact information was deleted from his inbox - these were the only things tampered with.

So, what can we do in the face of these highly orchestrated suppression efforts?

We have, in the last couple of weeks, created a very extensive file (including both audio and paper documents) that contains information relating to these events. In the event that anything happens to any of us (injury, false legal charges, disappearance, death), and we cannot go forward, copies of this information will be released to the public. The file includes every bit of information about the scientists who can do this work and are not allowed to as well as very reliable evidence and information about those involved in the suppression - names, addresses, phone numbers, specific details of actions.

We have contacts who can get it to the President, as well as the highest people in the media and Hollywood. And it will be released to you. We feel this is the best strategic step we can take because we cannot enter into protracted legal battles with these individuals with limitless money and power. Our one weapon - the best one we could have - is the truth, and the documentation we have of the truth.

Our goal is not to get into endless fights with these corrupt individuals; we just want to give humanity a chance to move forward with earth-saving, life-saving technologies.

We have not raised the three million dollars we had hoped for to open a laboratory and invest in equipment and staff. We have only received enough to provide modest grants to people working on their own. With no facility, people who are senior scientists and engineers cannot quit their day jobs without assurance that we have a place to bring them and give them salaries.

We have concluded at this point that people working on their own without collaborative support or project management are not going to be able to do this work successfully. If there is anyone who has a fully operational technology, please go to www.theorionproject.org and review the protocol we have for moving forward. Of course, we will sign non-disclosure agreements.

We have some very qualified engineers who understand the complexity and the urgency of the situation. Dr. Greer, Dr. Loder, Dr. Bravo, and these engineers are volunteering their time and energy. None of us has ever taken a salary or any compensation for our efforts solely because we believe in what we are

doing. So, if you know anyone or any group who has a legitimate technology and they are willing to cooperate transparently and honestly with the testing and reproduction of it so that it can be verified and shown to be legitimate, they are welcome to contact us.

With any technology, it is crucial to follow the scientific method of evaluation. There are inventors who say they have technologies that work, but they do not know how they work. Over the years, Dr. Greer has uncovered many frauds. An example has to do with one technology that Dr. Greer and Dr. Loder were called to evaluate. This was brought from another country and was actually a circuit embedded in a plastic resin that appeared to be pulling energy from the zero point or ether. The late Eugene Mallove, PhD (MIT - he is the scientist who blew the whistle on the distortion of cold fusion data and the coverup) was also involved in this evaluation. It turned out that this technology was actually a clever circuit that was tricking the meters and causing what is known as a power phase angle shift (the electronics people know what this means), but the bottom line is that many people had sunk money into this, and it was a clever fraud. This is why we require transparency. We are professionals. We have very professional engineers. We do not wish to be involved in a sleight of hand trick. We also cannot at this time fund people's ideas. We have come to the realization that in order to get this work done, we must set up a secure lab, properly equipped with scientific research equipment and a professional scientific staff.

We are also in the process of completing a professional proposal for funding. The individual writing it is first-rate and highly qualified. We have an extensive amount of research and information in this proposal that we believe will make it the best proposal put forward in the new energy field. We will make this proposal available to foundations. We have always realized that adequately outfitting a lab and bringing in the best talent will require millions of dollars. Although we have just endured the intimidation of these scientists (reported above), several more excellent scientists stand ready to work with us. So, if you are a personal point of contact to someone you think would be interested in funding really new energy sources, please feel free to contact us.

It has been a very trying two years, culminating in the recent events we have just reported. Yet we see the good future that is possible for humanity. We want to thank the many amazing people throughout the world who have supported our efforts and continue to support us.

Thank you,

The Board of Directors of The Orion Project

[\[Permanent Link\]](#)

SUSTAINABLE ENERGY TO REPLACE FOSSIL FUELS FOR A NEW TOMORROW

DONATE TODAY

[Forward email](#)

✉ **SafeUnsubscribe®**

This email was sent to m560hiro@flute.ocn.ne.jp by info@theorionproject.org.
[Update Profile/Email Address](#) | Instant removal with [SafeUnsubscribe™](#) | [Privacy Policy](#).

Email Marketing by



The Orion Project | PO Box 4347 | Charlottesville | VA | 22905